

## 「7 避難所で過ごすことになったら」

- 学習のねらい： 1. 避難所とはどんなところかをイラストや写真で理解する。  
2. 避難所で守るルールやマナーを知る。  
3. 避難所の中で自分ができることを知る。

(指導上のポイント)

◆絵・写真に描かれている内容

- ①仮設トイレの順番待ち
- ②係員による相談・付添い
- ③炊き出し
- ④健康診断  
(エコノミークラス症候群等に注意)
- ⑤物資の配給
- ⑥避難所で勉強
- ⑦水の配給
- ⑧ゴミ整理
- ⑨大量の支援物資

その他には、情報の掲示・伝達、避難者受付、病気になった避難者の診療、交代での洗濯、けが人の治療、仮設風呂の設置などがある。

◆避難所では、ライフライン（電気・ガス・水道・電話など）が使えない場合があるが、そのために普段から準備しておくものを考えさせる。

例) 懐中電灯、タオル、食料や水

◆地域の避難所がどこか、児童が通う学校が避難所に指定されているかを指導する。

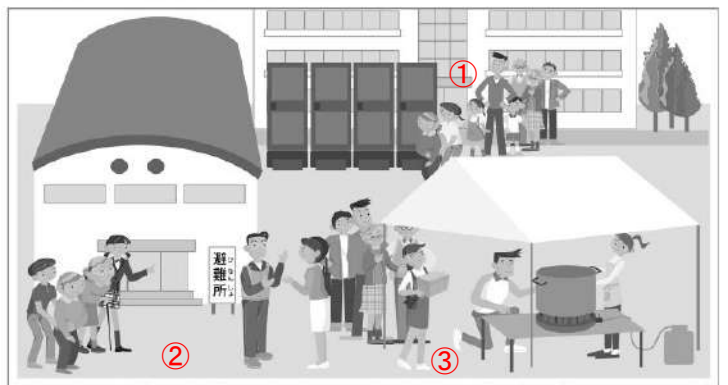
◆実際に児童が通う学校の体育館が避難所に指定された場合に気をつけることを考えさせる。

例) 休校となり授業が遅れたりすることもあるが、被災者と共存することで人間同士の支え合い等、児童にとって大きな経験になることがある。

## 7 避難所で過ごすことになったら

### (1) 避難所はどんな場所か

避難所の生活はふだんの生活とどのようにちがうでしょうか？  
下の絵と写真を見て考えてみましょう。



仮設トイレの順番待ち、水や食事配給の順番待ち、体育館で寝る、ごみの大量発生、仮設風呂に入る 等



15

(次年度以降の展開例)

- ・ 被災者の話や手記を児童に読ませる。
- ・ 自治体の協力を得て、防災倉庫等の中を見学する。などが考えられる。

### 【発展問題】

○大きな地震に遭遇したらどんな気持ちになるでしょうか。

(回答例) 怖い。家族と離れたくない。おなかが痛くなる。集中できない。など

## (2) 避難所であなたが気をつけなければならないこと

下の絵を見て考えてみましょう。



ゴミを決められたとおりに捨てる。配給の列へ割り込まない。大声で騒がず早く寝る。迷子にならないよう居場所を伝える。自分勝手な行動をしない。時間（起床、就寝）を守る。困っている人を手伝える。 など

## (3) 避難所であなたができること

下の絵を見て、あなたができることに○をつけましょう。



16

(指導上のポイント)

◆避難所では、助け合う、譲り合う、配慮し合うなどのルールやマナーを守ることが大切であることを指導する。

◆被災者とレクリエーションなどで交流する場づくりをもつことが大切であることを指導する。

◆イラスト補足説明 ※左側から

- ・（普段からゴミは決められた方法で処理すべきだが）衛生面や集団生活の点からもいつも以上に、清潔さに気を付ける。
- ・配給の列への割り込みや物資の少なさのクレームは全体の秩序を乱し、円滑な避難所運営を阻害する。
- ・大勢の人が同じ空間に集まっているので、誰かが騒いでいると、他の人たちが休めない。
- ・大勢の人が集まっており、人の出入りも頻繁にあるので、迷子になる可能性がある。

(指導上のポイント)

- ◆自分たちも避難所で役立つことがあることを気づかせる。
- ◆上記以外でも各自ができることについて考えさせる。

(確認)

避難所がどのような場所か、どのようなルールがあるか、どのような手伝いができるかを理解できたか。

### ★体験談（宮城県石巻市立門脇中学校生徒）

東日本大震災で、当たり前できていた学校生活が当たり前できないという苦しみを味わいました。また、避難所の方たちと同じ学校での不自由な生活で、我慢しなければならないことも多くありました。何事にも「できない。やれない。」と弱音を吐かず、方法などを変えて自分たちで工夫した学校生活を送りました。「人は非常時の振る舞いにこそ、その人の人間性が現れる」と言います。この生活でまさに人の温かさを感じ、成長することができました。

～H24.8「子ども防災サミット in みえ」より～

### 【発展問題】

○被災地を支援するためどのようなことができるでしょうか。

(回答例) 募金活動。学校で作った米等の支援物資を送る。手紙や折鶴を送る など